

# 表現あそび

2025年8月

ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ

## むしのこえ

指針: ⑧自分のイメージを動きや言葉などで表現したり、演じて遊んだりするなどの楽しさを味わう

### 問いを考える 虫ってどうやって鳴くの？

鳴く虫は何がいるのかな？

→蚊、チョウチョ、ハチなど。鳴かない虫でも飛ぶ音も鳴き声に入る

### 環境をデザインする

#### 導入

- ・虫が出てくる絵本を読む
- ・クワガタ、メダカのお世話をする
- ・鈴虫の鳴き声を聴きに行く



「くわがたのがたくん」

#### 発展した遊び

- ・虫探しや虫のお世話をした
- ・虫を通して季節の変化を楽しんだ
- ・蚊の手遊びをして遊んだ



なにかきこえる



これは  
カマキリだね

ゼリーを入れ替える

### 表現活動を実践し、記録する

#### おはようございますの挨拶から



拍手でおはようと表現したり  
正座をして挨拶してみたり

#### 蚊をさがしにいこう



蚊がとんできた！皆で捕まえに行こう

「せんせいの肩に！蚊が！」



「こんなにおおきいの  
つかまえた！」



蚊を捕まえた後は皆で見せ合いっこ

#### 蚊に刺されたところが痒くなってきた



「手をさされたよ」  
「ぼくはあたまさされたよ」

#### ハチが飛んできた！



今度は先生たちがハチに変身して  
近づいてきたよ！

「みつかっちゃう！」



花に変身して刺されないようにしよ  
う



最後は蝶になって飛んでいったよ！

### 振り返る・共有する

- ・蚊は鳴かないけど「ぷーんと音を立てながら飛んでいるよ」と子ども達からの気づきで蚊に変身すると、捕まえようとしていたりパチンとつぶそうとしていた。蚊が保育者の肩に止まると、音を立てず静かに近寄ろうと忍び足で移動して捕まえようとしていた。また、蚊を捕まえたり、つぶせると手のひらを見せて嬉しそうに話をしていた。
- ・「ハチに刺された」の言葉をきっかけに保育者がハチに変身すると、子ども達は刺されないように物陰に隠れたり、花に変身したりしていた。花に変身したところから、今度はその花に蝶が近づいてくると、今まで逃げていたところから自分の花の蜜を吸ってもらおうと近づいていく姿が見られた。
- ・初めての表現遊びだったが全員が参加しており、内容によっては見ているだけの子どももいたが、友だちの動きを見て楽しんでいる様子だった。
- ・子どもがついていけず困っている様子の時は、わかりやすいように伝えたり見本を見せたりしながら楽しめるよう近くで見守った。
- ・自分の発言した言葉をみんなで表現できることが楽しかったようで短時間ではあったが集中して参加していた。
- ・「蚊でこんなに遊べるとは思わなかった。」後日、教えてもらったあやとりを使って蚊を表現するリズム遊びを行うとそのリズムを楽しみ、本物の蚊のように逃げたり、追いかけていた。
- ・ブロック遊びで動物や生き物を作ると鳴き声を真似て遊ぶ姿が増えていった。今後戸外に出て虫探しをするときは子ども達とこの虫は鳴くのか、どんな鳴き声が出るのかなど一緒に考えていきたい。
- ・家庭でも虫の鳴き声や蚊を捕まえたことなどを話していたようで保護者からも「子どもが楽しんで参加していることが伝わった。」と話があった。

# 表現あそび

2025年8月

ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ

## 色水遊び

指針: 色の変化を楽しむ

### 問いを考える

混ぜたらどんな色ができるか 何を作って遊ぶか

### 環境をデザインする

様々な色水を用意する。水色、緑、赤、青、紫など  
コップや鍋、ボールなど入れ物を用意する。

### 表現活動を実践し、記録する

#### ①まずは約束事の確認。



お水は飲まない。  
お水はお友だちに掛けない。  
独り占めしない。

#### ②色水を使って遊ぼう



色水を使って何を作ろうかな...

#### ③混ぜてみよう



もう少しいれたら  
どんな色になるかな？

#### ④完成したごはんパーティー



それぞれが作った  
ご飯(ジュース、  
ケーキ、スープ)を  
机に集めて、パー  
ティーを開いている  
様子

### 振り返る・共有する

とても集中して遊んでいた。

友だちと協力して一緒に遊ぶ姿が見られ、水を入れる係と混ぜる係等役割分担を自分たちでやっている子どももいた。

色水を混ぜ合わせた時の色の変化を楽しんでいた。

遊びに夢中になりすぎて服や靴ががびしょびしょになっている子どもが多く、靴下の替えや洋服を準備していなかったの、事前に声を掛けをするべきだったと感じた。

全員が楽しんでいたの、今後も活動に取り入れていきたい。

# 表現あそび

2025年9月

ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ おつきみ

問いを考える お月見ってなんだろう？  
お月見はなにをする行事なのか  
⇒お団子やススキを飾ってお月様にお供えをする

### 環境をデザインする

#### 事前活動

- ・お月見の制作をする
- ・お月見の由来について知る

#### 事後活動

- ・折り紙でウサギを作る
- ・絵本や紙芝居を通して更に理解を深める

### 絵の具や花紙を使って制作



### 完成



### 表現活動を実践し、記録する

#### 様々なものになりきって挨拶

#### ハチになろう

#### 不思議な薬を見つけた

「くわがた！」  
「きょうりゅう！」

挨拶しながら  
前回、蚊やハチに  
なったことの  
振り返りをしよう



ちくん！

この薬は塗ると  
美人にも  
なるんだよ



ハチになって先生を刺しちゃおう  
でも、ちゃんとお薬も塗ってあげようね

#### うさぎに会いに行こう

#### 餅を作ろう

#### 変身しよう

おならロケットでつきにいこう！

うさぎさんと一緒に、不思議な薬を  
混ぜてお餅をつこう  
お餅ができたら早速食べてみよう

お餅を食べたら飛行機、仮面ライダー、  
プリンセス、皆が好きなものに変身した  
変身している間に月から保育園に戻ってきたよ



不思議な薬が欲しい  
月のうさぎまで薬を届けに行こう



「ぺったん、  
ぺったん」

「みて！  
おもちできたよ」



### 振り返る・共有する

- ・前は参加した人数が少なく今回初めて参加した子どもも多かったが、前回の振り返りをしながらお月見の内容に入ることでスムーズに参加することができていた。
- ・お月見の制作をしていたことで、イメージがしやすく子どもたちも活動に入り込むことができていた。
- ・参加せず周りで見ている子どもも、友だちが楽しんでいる姿を見て雰囲気を楽しむことができていたように感じた。

# 表現あそび

2025年10月

ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ かななづき

問いを考える 神無月ってなんだろう？

神無月の意味は？

→全国の神様が出雲大社に集まる月のこと。神様は出雲に集まって神様会議をする。

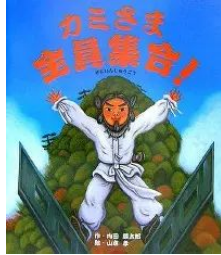
### 環境をデザインする

#### 事前活動

・「カミサマ全員集合！」の絵本を読む

#### 事後活動

・再度お米の神様の話をする



みんなは何の神様になりたい？



きょうりゅうの  
かみさま！

やさしいかみさま！

### 表現活動を実践し、記録する

#### 神様の話

「かみさまみんな  
しゅうごうするんだよ！」

導入で見た絵本の話  
をさーやんに説明



かみさまはどこに  
いるのかな？

「えほんのなか」  
「たんぼのなか」

#### 田んぼの神様に会いに行こう



みんなも稲を  
植えてみよう

「よいしょ」

歩いて、止まって、狭い道  
を通過して田んぼに到着

#### 田んぼに稲を植えよう



みんな丁寧に一つずつ  
稲を植えているよ

#### お米を育てよう



によきによき

殻むいて殻むいて  
殻むけた

稲に水をかけると芽が出てきたよ  
みんなも稲になったよ

#### お米が出来たよ



できたお米を収穫  
お米の殻をむこう  
むいたお米をお釜に入れて洗おう

#### おにぎりを作ろう



作ろう、作ろう、  
おにぎり作ろう  
作ろう、作ろう、  
何入れよう

「しゃけ！」  
「めんたいこ！」

育てたお米でおにぎり作り  
みんな入れたい具材が  
いっぱい

### 振り返る・共有する

・すくわく前日に絵本を読み、神様の話をした。それを覚えていた子どもがさーやんに「きょうかみさまでしょ？」と聞くと、周りの友だちも「かみさましゅうごうするんだよ」と説明を始めた。どこに集まるのかは覚えていなかったが、集まりそうな場所をイメージして答えていた。

・子どもの発言から「たんぼ」という言葉が出てきて、さーやんがそれを拾い田んぼの神様に会いに行くことになった。前日に読んだ絵本の中に田んぼにいた神様いたシーンがあり、それを思い出し発言したと感じた。

・「お米には7人の神様がいます」と以前保育者が話したことがあり、再度給食中にその話をした。その日の給食では、米粒一つ残らず完食して保育者に見せる子どもの姿が多かった。

# 表現あそび

2025年11月  
ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ 収穫祭

問いを考える 収穫祭ってなんだろう？  
畑にはどんな野菜がある？  
⇒大根やニンジン、サツマイモなど様々な野菜がある。

### 環境をデザインする

#### 事前活動

・野菜に関する絵本を読む

#### 事後活動

・実際に収穫しに行く。

・収穫した野菜についての土を洗う

### 畑にはどんな野菜があるか見てみよう

#### 事前活動



「今この季節はどんな野菜があるかな？」  
「きゅうり！」  
「だいこん！」「にんじん！」

### 表現活動を実践し、記録する

#### 虫に変身



「みんなは  
何の虫に  
なりたい？」

「かまきり  
がいい！」

「つぎは  
かぶとむし！」

子どもたちが大好きな  
カマキリやカブトムシに  
なってみよう

#### 次はカメムシ

次はカメムシに変身して、見つからないようそーっと先生の家の中に忍びこもう  
すると、先生がさつまいもを食べておならをした  
おならのにおいに負けないぐらい臭いにおいをとばそう



「なんだろう  
この匂い？  
くさい！」

#### ゴキブリになったよ



今度はゴキブリに変身して、  
先生に見つからないよう、  
ベッドの下や冷蔵庫の下に  
かくれよう

#### 先生に見つかった！

「みつかっちゃう！」  
「いそでかくれろ！」

「だいじょうぶ？  
たすけにきたよ！」

「やられた〜」

殺虫剤を掛けられてしまった  
ゴキブリたち。ひっくり返った仲間  
を助けようとする子も



#### 最後はクワガタに

最後はクワガタに変身して、み  
んなで色んなところへ冒険に  
行ったよ。

「くさいくさいのとんで  
いけー！」



### 振り返る・共有する

・フェスティバルで踊った昆虫太極拳に出てくるカマキリやカメムシの昆虫の名前が子ども達から出ていた。さーやんが子ども達が発言したカマキリ、カメムシ、ゴキブリを拾い、昆虫になりきって遊んだ。  
・今までのすくわく中様子見な子どもが今回は積極的に参加しており、安心できる雰囲気や環境になっていると感じた。  
・事前に畑に関する話をしていたが、子どもたちは虫に対しての興味が強く、様々な虫に変身するという内容だった。その中でも、サツマイモのところで収穫祭に繋げ、自然と子どもたちも野菜に触れることができていた。  
・カマキリやゴキブリ等様々な虫になっている中で、皆が変身している虫とは違う虫になっている子どもが何名かいた。しかし、そこで無理に一緒の虫になるように声を掛けず、一緒の雰囲気が楽しめるよう見守っていた。

# 表現あそび

2025年12月  
ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ お正月

### 問いを考える

十二支ってなんだろう？

⇒年が変わるとともに変わっていく。子、牛、虎、、、と12の動物がいる。

### 環境をデザインする

#### 事前活動

・干支や24節季に関する絵本を見る

#### 事後活動

・お正月の行事に参加する。  
・神社にお参りに行く。

### 干支って何？お正月は何をする？

「みんなは牛と  
虎だね」



「お正月は  
なにを  
食べる？」

「おせち！」「えびたべたい！」

### 表現活動を実践し、記録する

#### 除夜の鐘になろう

「鐘に  
変身！」



お正月にはお寺で鐘を突こう  
願いを込めながら108回鳴らすよ

#### お餅をたべよう

「プリンセスに  
なれます  
ように」

「ごーん！」



お正月といえばお餅  
皆でお餅をつくところから  
やってみよう

「もちっこやいて  
とっくらきやあ  
してやいて  
きなこをつけて  
たべたら  
うまかろう♪」

先生たちが食べたいお餅を  
作ってプレゼントしたよ  
他にも皆で唐揚げをいれて  
食べたよ

「きなこもち  
どうぞ」



#### 馬がやってきた



来年の干支の馬が一足策に  
美味しそうな匂いにつられて  
やってきた  
馬だけじゃなくて猫や犬もきたよ

#### そばを作ろう

「おうまは  
みんなぱっぱか  
はしる  
ぱっぱか  
はしる♪」

「にゃーん！」



「あぶくだった  
にえたった  
にえたか  
どうだかたべてみよ」

「びよーん！」

年越しそばを生地から  
作ってみよう！  
そばが沢山あるから皆で  
大きい鍋になって茹でよう



完成したそばを皆で食べて  
お正月を楽しんだよ

### 振り返る・共有する

・前日に干支の絵本を読んでいたことで、猫が干支に入れなかった話を子ども達は覚えており、干支の話が出てくると猫になりきる子どもがいた。  
・クラスでも干支の絵本を読めるよう置いておくと、子ども達同士で「ぼくたちはうしどしだね」や「ねこははいれなかったんだよね」と話す姿が見られた。  
・すくわくタイムの前にお寺で除夜の鐘を鳴らすという話をしていたことで、さーやんがそのまま話を繋げ子ども達も自然に今回の活動に入れていた。  
・クリスマスが終わった後から、「おしょうがつがあるんだよね」と話している子どもがおり、すくわくを通して日本の行事について子ども達に伝わっていることを改めて感じた。

# 表現あそび

2025年1月

ソラストみたか台保育園 こだま組(3歳児)

## テーマ 日本文化の伝承 「年末年始」「節分」

問いを考える

節分ってなに？

⇒豆をまいて鬼(病気や厄)を祓うこと

環境をデザインする

事前活動

- ・節分や鬼に関する絵本を見る。
- ・節分には何をするのか子ども達に聞く。

事後活動

- ・豆を作る
- ・節分会に参加する

鬼について知ろう



「みんなのお腹の中にはどんな鬼がいるかな」

表現活動を実践し、記録する

風が吹いてきた



北風に変身して風を吹かせよう  
北風に呼ばれて雪女がこだま組に来たよ

雪女をやっつけよう



雪女を倒すためにみんなでお湯を沸かさう

「びゅーん！」

「おゆをかけてとかしちゃえ」

「どうやって雪女をたおそうか」

「ゆきおんなぜんぜんきづいてないね」

お湯が準備できたらそーっと近づいて...  
お湯を掛けちゃおう！



鬼がやってきた



やられた雪女が鬼に助けを求めて鬼がやってきた  
今回は鬼退治に出発だ

鬼退治に出発



「けんでこうげきだ！」

「べいぶれーどこうげきだ！」

ついに鬼と対決！それぞれの武器で戦おう

元の世界に帰ってきた

「鬼ヶ島までボートを漕いでいこうよ」

さる、とり、きじを仲間にして、ボートで鬼ヶ島に向かうよ



「おににあったんだよ！」

「おにをやっけたよ！」

鬼退治が終わって鬼ヶ島から帰ってきた  
何があったか先生たちに教えてあげたよ

振り返る・共有する

・節分の話や絵本を読む前に子ども達に節分は何をする日なのか聞くと、「まめをまくんだよね」や「おにをおいはらうんだよね」と話していた。

・風が吹いてきたところから寒いに繋がり、寒いから雪女へと子ども達が連想して物語が繋がっていった。また、そこから今度はさーやんが雪女の仲間ということで鬼につながり節分のテーマへと物語が動いていた。

・子ども達は鬼と聞いて桃太郎を連想していた。その子ども達の思いを拾って、物語の最中に桃太郎の歌を歌詞はないが音楽だけ歌うと一緒に口ずさむ姿が見られた。

・物語が進んでいく中で、中心から外れた場所で見ている子どもが何人かいた。全体の様子や状況を見ながら、自分が参加できそうな場所で参加したり、離れた場所にいながらも話を聞いて自分なりの物語を展開したりしている子どもがいた。

・後日、保護者からもやーさんが来るのを楽しみにしていたという話を聞いたり、子ども達からも楽しかったやもっとやりたかった等の声が聞こえ、とても楽しんで参加していることが分かった。

# 表現あそび

2025年2月  
ソラストみたか台保育園 こだま組（3歳児）

## テーマ 冬眠から目覚め ひな祭り

### 問いを考える

冬眠する動物とは

⇒くまやカエル、リス等様々な動物がいる

### 環境をデザインする

事前活動

- ・春に関する絵本を見る。
- ・冬眠する生き物について考える。



事後活動

- ・ひな祭り会に参加する
- ・春の動植物に触れる。

### 表現活動を実践し、記録する

#### ふきのとうって？



「ふきのとうっていうんだよ」

「ふきのとうはどんな味？」

「からい！」

「あまい！」

すぐわくの前に見ていた絵本にでてきたふきのとうそこから繋がって、ふきのとうは何かを考えよう

#### ふきのとうをさがせ！



雪の中にあるふきのとうをみんなで探そう  
中にはふきのとうじゃないものを見つけている子どももいたよ

「みてみて、たくさんみつけたよ」



#### ゆきであそぼう

「やられた～」

「いっぱいなげよう！」



ふきのとうを探しているうちに雪合戦が始まった  
先生に雪玉をいっぱいなげよう  
ゴキブリを投げた後は殺虫剤も忘れずに

#### 天ぷらをつくろう

雪合戦の後は、集めたふきのとうで天ぷらづくり。皆がふきのとうになって辛いのと甘いのが完成したよ。

「ぼくはあまいふきのとう！」



「あかりをつけましょ～」



あまいふきのとうはひな祭りのお祝いとして歌いながら食べたよ

#### 辛いふきのとうは？

二月の鬼がまだいたから辛いふきのとうを食べさせて退治したよ



「やったー！」 鬼を退治できてみんなで大喜び

### 振り返る・共有する

- ・全体的に落ち着いており、話を聞かるときは聞く、話すときは話すメリハリをつけながら活動に参加できた。
- ・一人のアイデアから、他の子どももそこに足していく形で様々な意見が出てきているのが良かった。一人ひとりが別の物語を作っていくのではなく、イメージを共有して話を展開していた。
- ・ふきのとうを食べたことがないからこそ、それぞれが想像した味をこたえていたのが面白かった。
- ・ゴキブリを雪玉にまぜ、カメムシの話や殺虫剤が出てきたのが前にやった内容と似ていたのも、覚えていた子どもがいたのではないかと思った。

### 共有

すぐわくでなりきり遊びを楽しんでいるところから、レッツエンジョイスマイルデーでも虫や保育士になりきることを楽しんだ。保護者の前で先生になることを喜んでいる姿が見られた。

